

かつらぎ

2020年
(令和2年)

9月



スマホで手話通訳

特集
新型コロナと
聴覚障害者



新型コロナ × 聴覚障害者



みやもと ひろみ
宮本 弘美さん



はらだい さちよ
原代 幸代さん

手話で会話ができるとう安心

早くマスクが外せる世の中に！



聴覚に障害があり、主に手話をコミュニケーションの手段としている原代幸代さん（妙寺）と宮本弘美さん（中飯降）に話を聞きました。今回の特集では、新型コロナウイルスの影響で困っていることや工夫していること、新しい生活様式への取り組みなど、二人の思いを紹介させていただきます。

困っていること マスクで口が見えない！

▼手話は「見る言葉」です

手話は、「手の動き」や「口の動き」、「表情」を読み取って会話をしています。手の動きだけでは読み取ることができません。

例えば、「5」と「あ」、「遠い」と「パン」の手の動きはよく似ています。しかし、口の動きは、どうでしょうか？それぞれ違いがあります。だから、手の動きと口の動きで読み取っています。また、表情で相手の気持ちが分かります。しかし、今、スーパーや病院、何処に行ってもみんなマスクをし

ています。マスクをしていると、口の動きが見えません。表情も目元しか見えません。だから、相手は何を言っているのかよく分からないから困っています。新型コロナウイルスのことを考えると仕方ないことですが、早くマスクが外せる世の中になればいいのにと、いつも願っています。

解決策① マスクを作りました！

▼フェイスシールドは使いづらい
テレビでも手話通訳の方がフェイスシールドをよく付けています
が、実は使いづらいものです。

▼口が見えるマスク

手話は、口元で手を動かすことが多く、フェイスシールドに手があたってしまう。また、反射して見えにくいからです。

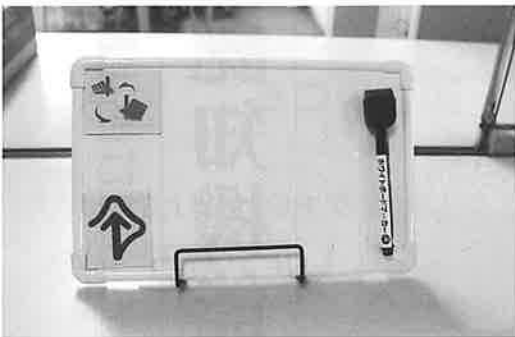
病院へ行くときは、手話通訳の方に付き添ってもらいます。マスクはどうしても必要です。だから「口が見えるマスクがあればいいのに」と思って手作りしました。

口の動きがよく見えるので活用していますが、「表情が見えにくい」というのが少し難点です。

「誰か透明のマスクを作って！」
とつくづく思います。

また、4月ごろ、マスクが手に入らないこともあり、友達も困っていたので、布でマスクを作って配ったら喜んでくれました。

（宮本さんはミシンの仕事をしてきたこともあって裁縫が得意です。写真D3の手作りマスク）



筆談用ホワイトボード
受付や窓口に置いてほしい



宮本さん手作り
友達に配布したマスク



宮本さん手作り
口が見えるマスク

解決策② ホワイトボードを活用！

▼筆談でのコミュニケーション

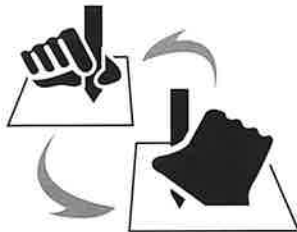
いつでも気軽に、誰でも「筆談」ができるように、小さいホワイトボードを、スーパ―や病院、公共施設などの受付や窓口に置いていただくと助かります。

難聴で補聴器を付けている方や、高齢で耳が聞こえにくい方も活用できるからです。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表し、筆談や手話、ゆっくり話すなどの配慮を求めるマーク



筆談マーク

耳が聞こえない人などが、筆談でのコミュニケーションの配慮を求めるマーク

新型コロナウイルスが追い風に!?

これまでも、台風の接近や災害のたびに不安がありました。耳が聞こえないことで、緊急時の情報がすぐに入って来ないからです。

新型コロナウイルスの影響で、不安はさらに増していましたが、コロナ対策の中で改善されたこともあり、うれしく思っています。

かつらぎ町の情報

LINEで身近になった!

手話を主なコミュニケーションの手段としている聴覚障害者は、かつらぎ町で13人います。その内、7人はスマートフォンを所持し、LINEを活用しています。身近なかつらぎ町の情報がLINEから入ってくるようになり、非常に助かっています。

スマホ・タブレットを活用 遠隔で手話通訳が可能に!

▼一番の不安は

『私が感染したらどうしよう』

もし、私たち聴覚障害者が新型コロナウイルスに感染した場合、病院でのコミュニケーションはどうなるのか。手話通訳者が来てくれるのか?手話通訳者にうつして

しまうかも、不安は尽きませんでした。

今まで、かつらぎ町に配置されている専任の手話通訳者とは、携帯電話のメール機能を使って連絡を取り合っていました。今回、スマートフォンに変更していただくことで、LINEのチャット機能(テレビ電話)を使って、遠隔での手話通訳が可能になりました。この機能を使うことで、マスクを外して手話で会話をすることができ、安心して会話ができるようになりました。

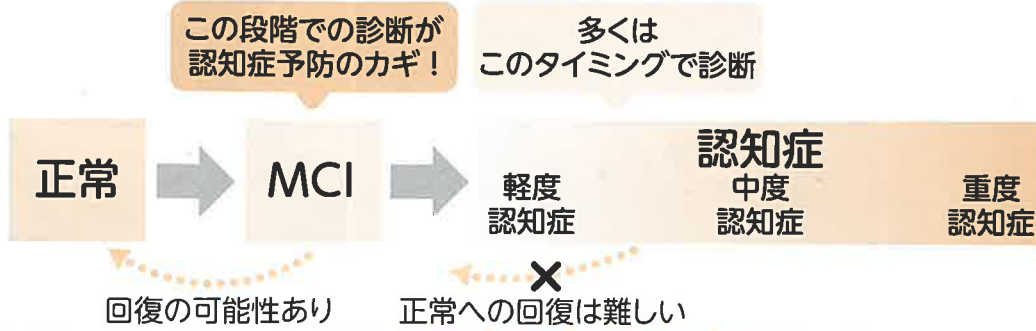
▼タブレットを貸し出し

スマートフォンを持たない聴覚障害者が、遠隔での手話通訳が必要となったときは、町がタブレットを貸し出して対応していただけるようになりました。(このタブレットは、県からの貸与で期限あり)

認知機能の低下に早く気づくことが大切です

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく

MCI(軽度認知障害)と認知症の関係



家族だけで抱え込まず
気軽に相談
してください



かつらぎ町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員 **岡浦 詞美**

かつらぎ町では、2020年7月31日現在、65歳以上の人口は6395人で、高齢化率は38.9%。そのうち、1279人が認知症、1087人がMCI、合わせて2366人が何らかの認知機能の低下があるという推計が出ています。誰もがなる可能性のある認知症ですが「認知症を受け入れる」ということは、本人にとっても家族にとっても、とてもつらい時期があります。

しかし、早い時期から家族や地域、専門機関などつながり、本人に適した支援につながることであれば、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことは可能です。

認知症について正しく理解し、本人の心に寄り添った輪を広げていくことがとても大切です。

50歳を境に急増

若年性認知症

認知症は年齢にかかわらず発症する可能性がある病気で、高齢者特有のものでもありません。

65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」といいます。若い人がゆえに何らかの異常が現れていても本人も周囲も認知症のせいとは思わず、発見が遅れてしまう傾向があります。患者数は50歳を境に急増します。

認知症は誰にでも発症する可能

性がある身近な病気であるため、他人事ではなく自分事として考えることが大切です。

認知症の前段階

MCI(軽度認知障害)

MCI(軽度認知障害)とは、認知症の前段階のことで、認知症ではありません。

この段階で適切な対処を行えば、半数近くの人が正常に戻ったという調査結果があることから、発見や対処が早ければ早いほど効果的と考えられています。

しかし、気づかないまま放置するとどんどん症状が悪化し、5年後には約半数の人が認知症になる可能性があると言われています。

初期の段階で医療機関を受診することで、早期に適切な治療を開始することができ、治療やケアの選択肢も広がります。

新型コロナウイルスの影響

認知症の進行が懸念

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出の自粛が長期に渡ると、高齢者の心身状態の低下を心配する声があがっています。

また、認知症の方やMCIの状態の方は、認知症の進行が懸念され、来年以降の認知症の方や寝たきりの方の人口が増加すると考えられています。

●生活リズムを乱さない

コロナウイルスについては正しく恐れて、できるだけ生活リズムを乱さないようにしましょう。

●3密を避け散歩や体操を
3密（密閉・密集・密接）にならない場所での散歩や体操など、体を動かす機会をもちましょう。

●家族や友人との会話を楽しもう
可能な限り家族や友人との会話を楽しみましょう。人と会う機会が減る中でも、電話を使えば音声で会話ができます。専用アプリを使ったビデオ通話なら、互いの顔を見ながら話すこともできます。高齢の親族や友人に頻繁に電話をかけて互いに励まし、会話の機会を増やすことが認知症予防につながります。

認知症のリスクを高める
9つの要因

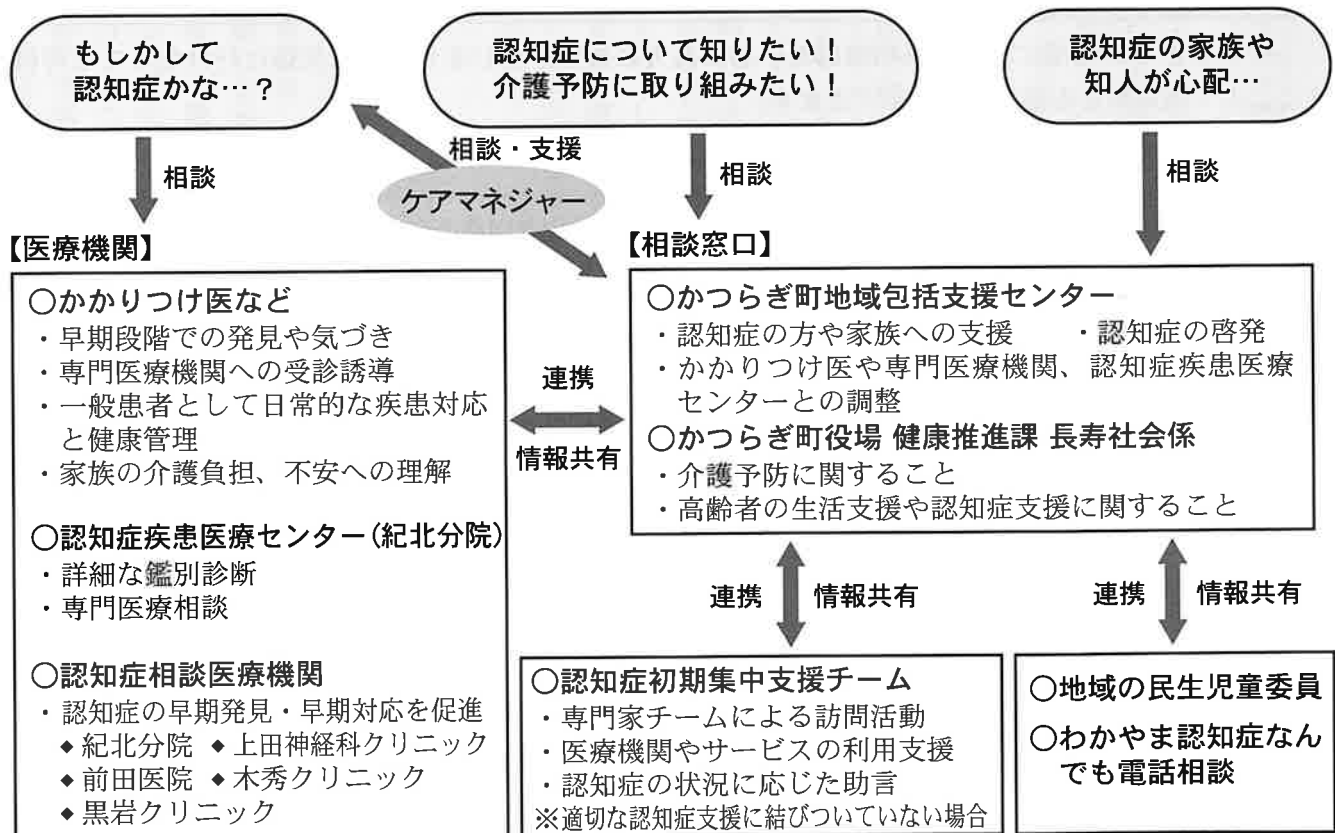
- ①11～12歳までに教育が終了
- ②高血圧
- ③肥満
- ④聴力低下
- ⑤喫煙
- ⑥抑うつ
- ⑦運動不足
- ⑧社会的孤立
- ⑨糖尿病

9つの要因の全てを排除できた場合、認知症患者は最大で35%減らせる可能性があります。



できることから
認知症の予防につながる
生活を心がけましょう！

認知症の相談窓口と役割 ～どこに相談すればいいの？～



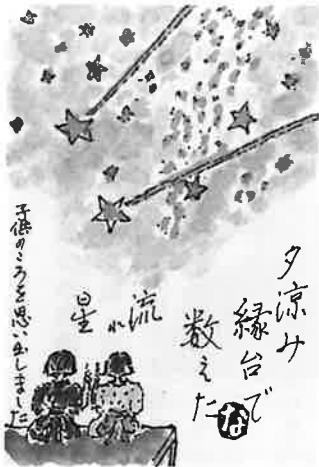
高齢者の体を気づかうお便り

暑中お見舞い申し上げます

妙寺中学校と絵手紙小組が、社会福祉協議会の配食サービス利用者と、高齢者施設に届ける暑中見舞いのハガキを作成しました。

また、有志のボランティアさんが宛名書きを手伝ってくれました。

この取り組みは、ハガキリサイクル運動の収益金を活用しています。



絵手紙小組





妙寺中学校



寄付金で被災地を応援！ 令和2年7月豪雨災害

7月3日からの大雨により、九州南部を中心に甚大に被害が生じました。被災地に行けなくても寄付することで被災地を応援することができます。

	被災された方を応援	支える人を応援
名称と内容	日本赤十字社 令和2年7月豪雨災害 義援金  熊本県・鹿児島県・福岡県・大分県・佐賀県・島根県・岐阜県・長野県・山形県の被災された方々に義援金として届けられます。	中央共同募金会 災害ボランティア・NPO活動 サポート募金 (災害ボラサポ・令和2年7月豪雨)  被災県内のNPO・ボランティア団体による被災者支援活動にかかる費用として活用されます。また、防災・減災力向上のための活動にも活用されます。
募集期間	12月28日(月) まで	12月31日(木) まで
受け入れ先	日本赤十字社 和歌山県支部 かつらぎ町分区 (町社会福祉協議会内) ☎0736-22-4311	受入口座：三井住友銀行 東京公務部 (普)0162585 (福)中央共同募金会 クレジットカードやコンビニでの寄付も可能 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">赤い羽根 災害</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">🔍 検索</div>

善意のご寄付

(7月1日～7月31日 敬称略)

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

澤本 文彦	亡母	カズ子	西渋谷
山口 篤司	亡母	須磨子	三谷
田村 廣子	亡夫	君雄	笠田東
宮田 潔	亡母	文孝	丁ノ町
西川 彰信	亡父	中尾 均	花園梁瀬
小松 弘典	亡母	房子	中飯降
蜂須 薫	亡母	典千代	笠田東
稲本 光重	亡父	邦雄	笠田東
高田 勉	亡母	アサエ	丁ノ町

◆匿名

◆篤志寄付として

匿名

ありがとうございました

ありがとう



(7月1日～7月31日 敬称略)

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方

上 和美・上 トヨエ・匿名 4名
白ゆりグループ・(有)シバモリ
ボーイスカウト伊都第3団
訪問看護ステーションはなぶさ
日進化学(株)和歌山工場

★令和2年7月豪雨災害義援金に協力いただいた方

(日本赤十字社かつらぎ町分区)

城向 善靖(星山)
かつらぎ地区交通安全母の会
匿名



ちょっと早い年末のお掃除大作戦

支え合い・助け合い ボランティア募集

10/30(金)
まで



活動日

10月1日(木)～11月20日(金)

活動内容

窓拭きや雨戸の掃除・クモの巣取り・庭の草引き・部屋の掃除や整理整頓など、困っている人を笑顔にできるボランティア活動です。

活動場所

支援対象者の自宅に訪問

活動方法

訪問後1時間程度のお手伝い・2名～4名で訪問

申し込み

町社会福祉協議会 地域係 ☎0736-22-4311



こまった時は、気軽に相談しよう!!



もの忘れ相談

9月7日(月)・23日(水)

受付 13時～15時(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町地域包括支援センター
☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ? 認知症? 迷ったら
ご相談を(当日電話での相談可能)

無料法律相談

9月14日(月)・28日(月)

受付 13時30分～15時30分(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-4311

法的なトラブルに弁護士が相談に応じて
います(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜(祝日除く)

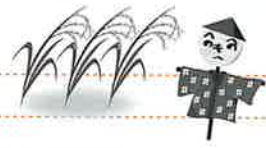
受付 8時30分～17時15分
場所 町地域福祉センター1階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-4311

日常生活上の困りごとに幅広く対応
職員が相談に応じています

社会福祉協議会・福祉団体

地域のボランティア活動

1	火	<p>9月1日 防災の日 避難方法や備蓄品など、 災害への備えについて家庭 や地域で話し合いましたよ! 防災週間 8月30日(日)~9月5日(土)</p> 	手話伊都手のひら (19:30~21:00 妙寺公民館)
2	水		<p>毎週月曜日・水曜日 (21日・23日除く) よりみち 居場所(13:30~15:30大谷地域交流センター)</p> <p>よりみち親の会 (19:00~21:00大谷地域交流センター) 手話サザエさん (19:30~21:00笠田ふるさと交流館) ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00 かつらぎ公園堤防) 妙寺駅マルシェ歌声喫茶 (14:00~16:00 妙寺駅舎)</p>
3	木	つれもてカフェ (13:30~15:00 cafeころーれ)	
4	金	友愛電話 (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、 東浜田、西浜田、中央部、四邑、志賀、天野、新城) 手話サークル夢 (13:30~15:00)	
5	土		
6	日	傾聴ボランティア講習会 (13:30~15:00)	
7	月	朗読山びこ (9:00~16:00) もの忘れ相談 (13:00~15:00)	
8	火	つれもてカフェ (13:30~15:00 みまもりショップ杏) 布のおもちゃ (13:30~16:00)	
9	水		ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00 かつらぎ公園堤防)
10	木		
11	金	友愛電話(丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、 笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二)	
12	土		
13	日		
14	月	無料法律相談 (13:30~15:30)	
15	火	布のおもちゃ (13:30~16:00)	三ツ葉会(13:30~15:00丁ノ町地域交流センター) 手話伊都手のひら (19:30~21:00 妙寺公民館)
16	水	つれもてカフェ (13:30~15:00 憩カフェ樹楽)	手話サザエさん (19:30~21:00笠田ふるさと交流館) ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00 かつらぎ公園堤防)
17	木	認知症家族の会 (13:00~15:00)	妙寺駅マルシェ歌声喫茶 (14:00~16:00 妙寺駅舎)
18	金	手話サークル夢 (13:30~15:00)	
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	秋分の日	
23	水	もの忘れ相談 (13:00~15:00)	ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00 かつらぎ公園堤防)
24	木	点字サークルあすなろ(9:00~12:00)	妙寺駅マルシェ歌声喫茶 (14:00~16:00 妙寺駅舎)
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	無料法律相談 (13:30~15:30) つれもてカフェ (13:30~15:00 四郷カフェ)	
29	火		
30	水		ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00 かつらぎ公園堤防)



★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。

★11月号に掲載を希望するグループは
9月30日(水)までにお知らせください。

